

事業報告書

2024年10月1日から2025年9月30日

公益財団法人 永守文化記念財団

I. 事業の状況

1. 永守コレクションギャラリーの創設・博物館登録と二周年記念

永守コレクションギャラリー（京都府向日市）はオルゴール等の芸術文化と関連技術を総合的に振興し文化の向上発展に寄与することを目的に2023年3月7日に開館し体験型の施設として、アンティークオルゴールやオートマタ（からくり人形）等、世界屈指のコレクションの一般公開を開始。同年12月には博物館法に基づく「登録博物館」に、認定された。

また2025年3月には、開館二周年を記念し、デザイナー・コシノジュンコ氏と、永守文化記念財団代表理事・永守重信によるトークショーを実施した。

テーマ：100年以上の時を超えて今に受け継ぎ次世代に継承する

“ファンション”と“技術”

日 時：2025年3月27日（木）13:00～15:00

場 所：永守コレクションギャラリー

2. 永守コレクションギャラリーの常設展示・運営状況

・開館日：毎週月・火・木・金（祝祭日、GW、お盆期間、年末年始を除く）

・開館時間：10:00～16:00（完全予約制）

・ギャラリーガイドツアー時間（各回 60 分）

◎10:30（10:30～11:30）

◎13:00（13:00～14:00）

◎15:00（15:00～16:00）

・ご来館状況

今期は、ギャラリーガイドツアーに加え、団体見学（企業・福祉施設・旅行会社等）や教育観点での幼稚園・小学校・中学校・大学の受け入れ、また年3回の特別展イベント企画等の積極的対応により、1,713組5,362名のご来館〔昨年度比約120%（一昨年度比228%）〕となった。来期は、学芸員の増員による受け入れ体制の強化をはかり、更なる来館人数増を推進する。

3. イベントの企画・開催

(1) 冬の特別展「アンティークオルゴールが紡ぐクリスマスの調べ」の開催

中世ヨーロッパの教会の鐘からはじまり、スイスで誕生・発展してきたオルゴールの歴史を、大小様々な名機によるクリスマス楽曲の演奏とともに紹介した。

・開催期間：2024年11月21日(木)～2024年12月27日(金)

・主な展示作品：ペイラードリボルバー・ボックス(1880 /スイス)、ブレモンドスイスシャレー(1880 /スイス)、モノポールクリスマスツリースタンド(1895 /ドイツ)、ステラテーブルタイプ No. 168(1900 /スイス・アメリカ)

また、期間中には次のイベントを実施した。

《ワークショップ》 「クリスマスツリー型オルゴールを作ろう！」

オルゴール付きの小さなクリスマスツリーを制作。

・開催日	2024年12月25日(水) ① 10:30～12:00 ②14:00～15:30
・参加人数	計 66名

《クイズラリー》 「オルゴール博士になろう！」

館内各所に、作品にまつわるクイズポイントを設置し、オルゴールやカラクリについて詳しく学ぶクイズを特別展開催期間中、随時実施。

《特別企画》

1) 親子で楽しむ音楽会「ヴァイオリン デュオコンサート」

バイオリンデュオ（船越咲希さん（6歳）・中野緑さん）とオルゴール演奏会を開催。

・開催日	2024年12月23日(月) 12:30 開場 13:00 開演（約60分間）
・参加人数	39名

2) 京都市立芸術大学音楽学部の学生による「フルート二重奏とピアノのクリスマスコンサート」

京都市立芸術大学音楽学部学生（渡邊桜子さん・中田莉央さん・清野優芽さん）によるクリスマスコンサートを開催。

・開催日	2024年12月24日(火) 13:30 開場 14:00 開演（約60分間）
・参加人数	48名

(2) 春の特別展 「ラジオの詩 ^{うた}～谷川俊太郎コレクション～」 の開催

ラジオ放送開始（国内）100周年を記念して、「ラジオ工になりたかった」という詩人・谷川俊太郎氏のラジオコレクション展（京都工芸纖維大学 美術工芸資料館所蔵）を開催した。オルゴール、蓄音機、ラジオへと変遷した音楽再生装置・個性的なデザイン、新たな素材を使用し時代の最先端を走り抜けたラジオの名品の数々を谷川俊太郎氏のラジオの詩と共に紹介した。

- ・開催期間：2025年3月21日（金）～2025年5月27日（火）
- ・主な展示作品：イサム・ノグチ「Model Radio Nurse, Guardian Ear」（1937年頃／アメリカ ZENITH社）、EAMES, Charles and Ray 「Model 6D030E」（1946年／アメリカ ZENITH社）、「Model Mo-ski-to」（1949年／フランス ZODIAC社）、「Model SK25」（1961年／ドイツ BRAUN社）

また、期間中には次のイベントを実施した。

《ワークショップ》 「ラジオをデザインしよう！」	
様々な飾りつけパーツを組み合わせて、オリジナルのラジオをデザイン。キットに組み込まれたラジオで実際に放送を聴ける作品を制作。	
・開催日	5月 10 日(土) ① 10:30～12:00 ②14:00～15:30
・参加人数	計 57 名
《クイズラリー》 「オルゴール博士になろう！」	
館内各所に、作品にまつわるクイズポイントを設置し、オルゴールやカラクリについて詳しく学ぶクイズを特別展開催期間中、随時実施。	
《特別企画》	
1) 「谷川賢作ピアノコンサート」－父が愛したラジオたち－～谷川賢作、父・谷川俊太郎を語り歌い弾く～	
作曲家でありピアニストの谷川賢作さんによるスペシャルコンサートを開催。	
・開催日	4月 18 日(金) ① 13:30～14:30 ②16:30～17:30
・参加人数	計 100 名
2) 特別展ギャラリートーク	
京都工芸繊維大学 美術工芸資料館の学芸員、和田積希さんによる、ラジオコレクションにまつわるエピソードや展示品の見所を解説。	
・開催日	4月 28 日(月) ① 10:30～11:30 ②14:00～15:00
・参加人数	計 30 名
フォトスポット：オートマタ作品「ワルツを踊る少女」になりきろう！	
オートマタ作品「ワルツを踊る少女」の衣装を着て記念撮影。期間中、随時実施。	

（3）夏の特別展「からくり博覧会 2025」の開催

“動くもの・回るもの”という視点から、ものづくりの原点ともいえる“からくり”的魅力を紹介した。江戸時代に人々の関心を集めた江戸からくり人形をはじめ、精緻な機構と芸術性を兼ね備えた西洋アンティークのオートマタなど、古今東西のからくり作品を公開した。

- ・開催期間：2025年7月17日(木)～2025年9月30日(火)
- ・主な展示作品：綱渡りと2人の奏者(c. 1870年頃／フランス)、茶運び人形(c. 2000年頃／日本)、ピアノ弾きと教師ダンスレッスン(年代不詳／オーストリア＝ハンガリー帝国(現チェコ))、オペラグラスを持つ少女(c. 1989／スイス)

また、期間中には次のイベントを実施した。

《ワークショップ》	
1) 「糸あやつり人形を作ろう！」	
木球や木の丸棒を材料に糸あやつり人形を制作。	
・開催日	7月30日(水) ①10:30~11:30 ②14:00~15:00
・参加人数	計65名
2) 「からくりオルゴールを作ろう！」	
ゼンマイを巻くと、オルゴールの音色とともに鳥の翼、針金が動くからくり。飾りつけをアレンジして自分だけのオルゴールを制作。	
・開催日	8月5日(火) ①10:30~11:30 ②14:00~15:00
・参加人数	計61名
3) 「機構の模型を作ろう！」	
機械の仕組みに欠かすことのできない、歯車の模型を制作。	
・開催日	8月6日(水) ①10:30~11:30 ②14:00~15:00
・参加人数	計65名
4) 「手のり茶運び人形を作ろう！」	
代表的な江戸からくりの一つである茶運び人形を制作。	
・開催日	8月7日(木) ①10:30~11:30 ②14:00~15:00
・参加人数	計64名
《館内ツアー》 「館長の特別からくりガイドツアー」	
通常のガイドツアーでは紹介しきれない様々ながらくり人形を、実演を交えて館長が解説する特別ガイドツアーを実施。	
・開催日	①8月21日(木) ②9月2日(火) ③9月16日(火) 10:30~11:30
・参加人数	計105名
《クイズラリー》 「オルゴール博士になろう！」	
館内各所に、作品にまつわるクイズポイントを設置し、オルゴールやカラクリについて詳しく学ぶクイズを特別展開催期間中、随時実施。	
《特別企画》	
1) ヨーロッパのおもちゃショー	
豊かな色彩と造形美で世界中のファンを魅了する、スイスの老舗玩具メーカー・ネフ社の積み木パフォーマンスを実施。	
・開催日	①7月29日(火) ②8月18日(月) 10:30~11:30
・参加人数	計105名
2) 糸あやつり人形劇団みのむし「おたのしみ劇場・さるカニ合戦」	
糸あやつり人形劇団みのむし代表の飯室康一さん（国内を代表する人形劇作家）による伝統に培われた確かな技術とウィットに富んだ演出。	
・開催日	8月4日(月) 10:15開場 13:45開場 (各約60分間)
・参加人数	124名

4. 出展協力

(1) 「竹の径・かぐやのタベ」

向日市観光協会より、「竹の径・かぐやのタベ」への出展協力依頼（オルゴール実演、体験）があり参画した。

- ・主 催：向日市観光協会
- ・実 施 日：2024年10月12日（土）と13日（日）の二日間
- ・場 所：向日市竹の径
- ・出展内容：竹製オルゴールの実演、演奏体験

(2) 「観光PR：行こう！竹の里乙訓へ」

京都府観光連盟および乙訓地域3市町合同の観光PRイベントへ参画した。

- ・主 催：京都府観光連盟
- ・実 施 日：2025年1月10日（金）～2月12日（水）
- ・場 所：JR京都駅「総合案内所 京なび」
- ・出展内容：ポスター掲示、チラシ配架など

(3) 「ニデックフェスタ出展」

ニデック株式会社より、「ニデックフェスタ」への出展協力依頼（ワークショップ開催）があり参画した。

- ・主 催：ニデック株式会社
- ・実 施 日：2025年3月15日（土）
- ・場 所：ニデック京都タワー
- ・出展内容：からくりオルゴールづくり、オルゴールボックスづくりのワークショップ

5. 京都府・向日市及び大学・幼稚園等との連携活動

教育的視点より、京都府・向日市との連携にも力を入れ始め、「博物館実習（京都先端科学大学、京都精華大学、武蔵野美術大学、学生受入れ）」「京のエジソンプログラム（近隣の小中学生受け入れ）」「職業体験、京都市立樋原中学校、向日市立勝山中学校・寺戸中学校・西ノ岡中学校」「教育旅行（米国オレゴン州中学生）」「関東学院中学校」「京都教育大学附属京都小中学校」「向日市立向陽小学校、第3向陽小学校」「向日が丘支援学校」「京都先端科学大学附属みどりの丘幼稚園」「向陽幼稚園」「長岡カトリック幼稚園」「華月つばさ保育園」他を実施した。

2024年10月から12月にかけて、ミュージアムを通した地域文化の理解・魅力再発見を目的とした京都府文化生活部の「ものづくり de つなプロ」企画で「からくりで学ぶ機械技術の原点」と題して、からくりをはじめとする“ものづくり”について学ぶ全5回の学習プログラムを実施した。

6. 保守・整備及び修復・修繕

所蔵する永守コレクション 347 点すべてについて点検を実施し、不具合箇所は内部の設計また衣裝修復技術者（京都服飾文化研究財団の出身）による修繕を行った。文化財を良好な状態で保存するために、登録博物館に認められているリプロダクション（複製）活動を行った。2024 年 10 月から第一番目の作品、ワルツを踊る少女の複製を開始し、2025 年 3 月に完成させた。2025 年 4 月から第二番目の作品となる、ワルツィングカップルの複製に着手している。今後も計画的にリプロダクション（複製）活動を行うと共に、内部技術者による修繕・複製が難しいコレクションについては、外部の専門家と連携することとする。

7. 資料（コレクション）の収集

新たに、ポリフォン社製ディスクオルゴール「ミカド」、リュージュ社製オートマタ「シンギングバードボックス」、ニデックインスツルメンツ社製ディスクオルゴール「重宝製オルガニート」を収集した。

8. 教育・育成

（1）社内教育

館長を講師とした以下の研修を実施した。

- コレクションの歴史
- オートマタの構造
- 修復の方法
- 機械の加工方法
- 作品解説
- 資料の整理
- 学芸員の育成（学芸員資格取得博物館実習等）

（2）外部研修

① 令和 6 年度 ミュージアム・パブリックリレーションズ研修

2024 年 12 月 3 日（火）～12 月 6 日（金）

② 令和 6 年度 文化財（美術工芸品）保存修理講習会

2024 年 12 月 17 日（火）10:00～16:20

③ 京都府ミュージアムフォーラム全体研修会（市民参加の展示づくり、インクルーシブデザイン）

2025 年（令和 7 年）1 月 29 日（水）10:30～15:30

9. 情報発信

ホームページや公式 SNS（インスタグラム）を活用し、動画を含めた情報発信を適宜適切に行うと共に、京阪神を中心とした美術館や公共施設へのチラシ配架、ポスターの掲示依頼を行った。今期は新聞社（京都新聞、産経新聞、奈良新聞）・TV 局（テレビ

大阪『おとな旅あるき旅』、読売テレビ『す・またん』、NHK 京都「京いちにち」)・ラジオ局(FM 大阪、KBS ラジオ、FM 京都(αステーション)、FM おとくに番組提供)等メディアとの連携を強化し露出増に繋がった。

10. 永守コレクションのアーカイブの作成及び活用

世界有数のアンティークオルゴールコレクションを写真及び動画の形で記録した。

(1) ホームページでの公開

デジタルアーカイブはホームページ上で公開した。

(2) オートマタ図録の活用

図録は書店の他、博物館・美術館等の売店に流通させ一般販売を行った。

11. オルゴール記念館すわのね での展示事業

「ニデックオルゴール記念館 すわのね」のスペースで展示を行っており、今後も引き続き、一般社団法人ニデックオルゴール記念館との共同事業を推進していく。

・入館料

昨年 10 月から本年 9 月までの当財団の入館料収入は、915, 753 円であり、これは入館料全体を有料スペースの比(11.3%)で按分して計算している。有料入館者数は合計 11, 715 人であった。各月の入館料収入等は以下のとおりである。

年	月	入館料収入(円)	総入館者数(人)	有料入館者数(人)
2024	10月	78,701	2,160	1,070
	11月	76,846	1,925	1,019
	12月	63,996	1,398	726
2025	1月	45,506	1,627	640
	2月	47,003	1,061	561
	3月	72,530	1,636	916
	4月	59,333	1,620	656
	5月	88,215	1,981	1,000
	6月	62,811	1,453	855
	7月	75,394	1,659	1,069
	8月	176,070	3,614	2,336
	9月	69,348	1,553	867
合 計		915,753	21,687	11,715

12. アンティークオルゴールの収蔵・維持管理

所蔵しているアンティークオルゴールの収蔵・維持管理をニデックインスツルメンツ株式会社(旧日本電産サンキョー)の協力のもと適切な収蔵環境で収蔵している。

II. 役員会等に関する事項

開催年月日	区分	議事事項
2024年11月5日	理事会	決議事項 第1号議案 2023年度事業報告及び決算書類承認の件 第2号議案 ニデックインスツルメンツ株式会社への業務委託料改定の承認について 第3号議案 評議員会開催の承認について
2024年11月23日	評議員会	報告事項 1. 2023年度事業報告及び決算書類の件
2024年11月23日	理事会	決議事項 第1号議案 評議員会開催の承認について 報告事項 1. 業務執行理事の職務執行状況の報告
2024年12月7日	評議員会	決議事項 第1号議案 2023年度事業報告及び決算書類承認の件
2025年3月28日	理事会	決議事項 第1号議案 評議員会開催について 第2号議案 伊藤ゆか氏との契約更新について
2025年4月2日	評議員会	決議事項 第1号議案 評議員の選任について
2025年8月7日	理事会	決議事項 第1号議案 資料（コレクション）の収集について 第2号議案 ニデックインスツルメンツ株式会社との取引について
2025年9月22日	理事会	決議事項 第1号議案 2025年度事業計画の承認について 第2号議案 2025年度予算書の承認について 第3号議案 ニデック株式会社との覚書締結について 第4号議案 ニデック株式会社及びニデックインスツルメンツ株式会社との覚書締結について 第5号議案 伊藤ゆか氏との契約更新について 第6号議案 ニデックインスツルメンツ株式会社への業務委託料改定の承認について 第7号議案 ニデック株式会社及びニデックインスツルメンツ株式会社との取引について 第8号議案 評議員会開催の承認について
2025年9月26日	評議員会	決議事項 第1号議案 2025年度事業計画の承認について 第2号議案 2025年度予算書の承認について

以上